

科目名	美容技術理論①	科目区分	必修	授業形態	講義	
対象学年	通年（修得者）	担当者	菊地・上原・川村（担当教員は美容室で美容師として実務経験あり）	時間/単位数	120時間	4単位
教育目標	現在の美容技術は薬剤の発展と共に複雑化し、正確に行わないと危険を伴うこともある。ここでは美容技術の基礎となる理論を学び、理論に基づいた正確な技術の修得をめざす。					
授業概要	美容師としての心構え、美容技術の基礎理論を学ぶ事によって、美容技術の理解を高め、美容実習につなげていく。					
授業計画						
回	項目	内容				
1～2	美容技術理論を学ぶにあたって	美容理論と美容技術について 美容技術における作業姿勢 美容技術に必要な人体各部の名称				
3～4	美容用具	美容技術と用具 コーム・ブラシ・シザース・レザーの種類 扱い方				
5～6		ヘアアイロン・ヘアドライヤー・ヘアスチーマー・遠赤外線・その他の美容 用具				
7～8		ヘアカッティング	ヘアカッティングとは シザースとレザーの扱い方 ヘアカッティングの正しい姿勢			
9～10	パーマメントウェーピング	ブロッキング ヘアカッティングの基礎理論				
11～12		パーマメントウェーブの歴史と現在				
13～14		ブロッキング パーマメントウェーブの理論				
15～16		パーマメントアラカルト				
17～18		シャンプーイング				
19～20		シャンプーイング	リンス、コンディショナー、トリートメント			
21～22		スカルプトリートメント				
23～24	パーマメントウェーピング 理	復習				
25～26	論	実際に行うにあたっての注意事項				
到達目標	国家試験合格	評価方法	定期試験			

科目名	美容技術理論②	科目区分	必修	授業形態	講義	
対象学年	通年（修得者）	担当者	菊地・上原・川村（担当教員は美容室で美容師として実務経験あり）	時間/単位数	120時間	4単位
教育目標	現在の美容技術は薬剤の発展と共に複雑化し、正確に行わないと危険を伴うこともある。ここでは美容技術の基礎となる理論を学び、理論に基づいた正確な技術の修得をめざす。					
授業概要	美容師としての心構え、美容技術の基礎理論を学ぶ事によって、美容技術の理解を高め、美容実習につなげていく。					
授業計画						
回	項目	内容				
1～2	ヘアセッティング	ヘアセッティングとはヘアパーティング				
3～4		ヘアウェーピング				
5～6		フィンガーウェーブの基礎技術①				
7～8		フィンガーウェーブの基礎技術②				
9～10		クロッキノールカール技術				
11～12		オールウェーブ構成				
13～14		スカルプチュアカール技術				
15～16		リフトカール技術				
17～18		メイポールカール技術				
19～20		ヘアカラーリング	ヘアカラーリング概要			
21～22	ヘアカラーの種類 ヘアカラーのタイプ別特徴					
23～24	染毛のメカニズム 色の基本					
25～26	ヘアカラーリングの注意事項 パッチテスト（皮膚と貼布試験）					
到達目標	国家試験合格	評価方法	定期試験			

科目名	美容技術理論③	科目区分	必修	授業形態	講義	
対象学年	通年（修得者）	担当者	菊地・上原・川村（担当教員は美容室で美容師として実務経験あり）	時間/単位数	120時間	4単位
教育目標	美容理論を学び幅広い知識を得ることで、サロンワークでの技術に結び付け応用することが可能になる。					
授業概要	国家試験課題を学習し理解することによって、実技課題の習得を容易にする。美容技術理論Ⅰ・Ⅱで学んだ事を土台として、さらにトータル的に美容について修得していく。					
授業計画						
回	項目	内容				
1～2	国家試験 第1 課題 オールウェーブ理論	オールウェーブの構成 美容用具				
3～4		カールの構成				
5～6		チェックポイント 注意事項				
7～8	小テスト	国家試験 第1 課題				
9～10	シャンプーング	シャンプーング、リンス、コンディショナー、トリートメント				
11～12		スカルプトリートメント				
13～14	ヘアカッティング	シザーズによるカッティング技法				
15～16		レザーによるカッティング技法				
17～18	小テスト					
19～20	パーマメントウェーピング	パーマメントアラカルト				
21～22	ヘアセッティング	ローラーセッティングの構成				
23～24	ヘアカラーング	毛髪のアムダートーンとレベルについて ヘアブリーチ				
25～26		酸化染毛剤 酸性染毛剤の技術プロセス				
到達目標	国家試験合格	評価方法	定期試験			

科目名	美容技術理論④	科目区分	必修	授業形態	講義	
対象学年	通年（修得者）	担当者	菊地・上原・川村（担当教員は美容室で美容師として実務経験あり）	時間/単位数	120時間	4単位
教育目標	美容理論を学び幅広い知識を得ることで、サロンワークでの技術に結び付け応用することが可能になる。					
授業概要	国家試験課題を学習し理解することによって、実技課題の習得を容易にする。美容技術理論Ⅰ・Ⅱで学んだ事を土台として、さらにトータル的に美容について修得していく					
授業計画						
回	項目	内容				
1～2	国家試験 第2 課題 ヘアカッティング理論	ヘアカッティングの構成				
3～4	ヘアセッティング	スキップウェーブ バックコーミング				
5～6		ブロードライ アイロンセッティング				
7～8		アップスタイル ウィッグとヘアピース				
9～10	小テスト					
11～12	ネイル技術	ネイル技術概論 種類 爪の構造 爪のカット形状				
13～14		注意事項とカウンセリング マニキュア ベティキュア リペア技術				
15～16	日本髪	由来 各部の名称 種類と特徴				
17～18	小テスト					
19～20	エステティック	エステティック概論 マッサージ理論 フェイシャルケア ボディケア 脱毛ケア				
21～22	メイクアップ	メイクアップ概論 皮膚の生理学・構造 メイクアップの基本テクニック				
23～24	着付けの理論と技術	着付けの目的 着物・帯の種類 着付け技術				
25～33	理論Ⅰ	国家試験対策				
34～42	理論Ⅱ	国家試験対策				
到達目標	国家試験合格	評価方法	定期試験			

科目名	美容実習Ⅰ	科目区分	必修	授業形態	実習		
対象学年	通年（修得者）	担当者	齋地・上原・川村（担当教員は美容室で美容師として実務経験あり）	時間/単位数	690時間	23単位	
教育目標	国家試験の合格に主眼を置きながら、“サロンの現場”を主体とした実践的教育(技術)を導入し、技術力を的確に蓄積していく。						
授業概要	美容に関する基礎的理論と知識を学び、実習を通して基本技術を効率的に習得する。前期には、ワインディング技術を中心にネイル技術と指圧マッサージを学ぶ。後期には、ワインディング技術に加え、ヘアセッティング技術であるオールウェーブセッティングとヘッドスパ、指圧シャンプーを学ぶ。ワインディングとオールウェーブセッティングは美容師国家試験課題に含まれる。						
授業計画							
回	項目	内容					
1～2	美容技術理論を学ぶにあたって	美容技術の教育カリキュラムの説明および諸注意					
3～4		美容における頭部の区分と名称					
5～6	美容用具	美容用具の確認と名称					
7～8		美容用具の取り扱い方					
9～12	ヘアカット	頭部ブロッキング、カットの基礎知識とシザーアクション					
13～16		モデルウィック(ヘアセッティング用)のカット実践の技術、実践					
17～20		モデルウィック(ワインディング用)のカット実践の技術、実践					
21～24		10ブロッキングの展示・実践					
25～28		スライス、コーミングの展示・実践					
29～32		上巻き展示・実践					
33～36		下巻き展示・実践					
37～40		ワインディング(ロッド巻)	センター				
41～44			バックサイド				
45～48			フロントサイド				
49～52							
53～56							
57～60							
61～64	ワインディング	全頭 35分（ブロッキング 4分）					
65～68							
69～72							
73～76							
77～80	ワインディング	全頭 35分（ブロッキング 4分） レベルチェック					
81～84		（全頭 35分・ブロッキング 4分）					
85～88							
89～92							
93～96	ワインディング	全頭 30分（ブロッキング 3分）					
97～100							
101～104							
105～108							
109～112	指圧マッサージ①	基礎理論、技術展示・実践					
113～118							
119～122	ワインディング	全頭 30分（ブロッキング 3分）					
123～126		全頭 30分（ブロッキング 3分）					
127～130	指圧マッサージ②	技術復習					
131～134							
135～138	ワインディング	全頭 30分（ブロッキング 3分）					
139～142							
143～148	ワインディング	全頭 30分（ブロッキング 3分）					
149～152		前期末試験（全頭 30分・ブロッキング 3分）					
153～158	パーマメントウェーブ	パーマ用ワインディング展示・実践					
159～162		パーマ用ワインディング実践					
163～166		2浴式コールドウェーブ技術プロセス展示・実践					
167～170		2浴式コールドウェーブ施術					
到達目標	国家試験合格	評価方法	定期試験				

科目名	美容実習Ⅱ	科目区分	必修	授業形態	実習	
対象学年	通年（修得者）	担当者	菊地・上原・川村（担当教員は美容室で美容師として実務経験あり）	時間数	690時間	23単位
教育目標	国家試験の合格に主眼を置きながら、「サロンの現場」を主体とした実践的教育(技術)を導入し、技術力を的確に習得していく。					
授業概要	美容に関する基礎的理論と知識を学び、実習をとおして基本技術を効率的に習得する。前期には、ワインディング技術を中心にネイル技術と指圧マッサージを学ぶ。後期には、ワインディング技術に加え、ヘアセッティング技術であるオールウェーブセッティングとヘッドスパ、指圧シャンプーを学ぶ。ワインディングとオールウェーブセッティングは美容師国家試験課題に含まれる。					
授業計画						
回	項目	内容				
1～2	ワインディング	全頭 28 分				
3～4						
5～6						
7～8	ブレイド技術	ピンクの仕方 ポニーテールの行い方 ブラシの行い方				
9～12						
13～16						
17～20						
21～24	ワインディング	全頭 27 分				
25～28						
29～32		エクステンションのスライスの取り方				
33～36	エクステンション技術	エクステンション（三つ編み・四つ編み）				
37～40						
41～44	ワインディング	全頭 26 分				
45～48						
49～52						
53～56		表三つ編み・裏三つ編みの行い方				
57～60	編み込み技術	タイトロープ・フィッシュボーンの行い方 展示・実施				
61～64						
65～68	ワインディング	全頭 25 分				
69～72						
73～76						
77～80	ローラーコントロール①	ブロッキング・スライスの取り方・角度・巻き方の展示・実施				
81～84		ブラシを使用しての仕上げ				
85～88						
89～92	ワインディング	全頭 25 分				
93～96						
97～100		バックコーミングの行い方				
101～104	ローラーコントロール②	リセットの行い方 展示・実施				
105～108		レベルチェック（全頭 25 分）				
109～112	デザインパーマ①	相モデルでのワインディング				
112～116						
117～120	ワインディング	全頭 23 分				
121～124						
125～128		相モデルでのワインディング				
129～132	デザインパーマ②	全頭 22 分				
133～136						
137～140	ヘアセッティング	フィンカーウェーブ(ワンストローク、リッジのつなぎ)展示・実施				
141～144						
145～148		全頭 22 分				
149～152	ワインディング					
153～156		フィンカーウェーブ(バック4線 1・2線目)展示・実施				
157～160	指圧シャンプー③	シャンプーイック技術試験				
161～164						
165～168	ワインディング	レベルチェック(全頭 22 分)				
169～172						
173～176	ヘアセッティング	フィンカーウェーブ (バック4線 3・4線目) 展示・実施				
177～180						
181～184		全頭 21 分				
185～188	ワインディング					
189～192						
193～196	ヘアセッティング	フィンカーウェーブ (バック4線クロックノールカール) 展示・実施				
197～200						
201～204	ワインディング	全頭 21 分				
205～208						
209～212	ヘアセッティング	フィンカーウェーブ (バック4線 30分)				
213～216						
217～220	ワインディング	全頭 20 分				
221～224						
225～228	ヘアセッティング	フィンカーウェーブ (バック4線 30分)				
229～232						
233～236	ワインディング	全頭 20 分				
237～240						
241～244	ヘアセッティング	フィンカーウェーブ (バック4線 30分)				
245～248						
249～252	ワインディング	全頭 20 分				
253～258						
到達目標	国家試験合格	評価方法	定期試験			

科目名	美容実習Ⅲ	科目区分	必修	授業形態	実習	
対象学年	通年（修得者）	担当者	菊地・上原・川村（担当教員は美容室で美容師として実務経験あり）	時間数	690時間	23単位
教育目標	国家試験の合格を主眼に置きながら、実技試験の課題を徹底的に反復練習する。技術ごとに定期的なレベルチェック（技術評価）を行い、科学的な分析により評価基準に適合した能力の指導を推進していく。					
授業概要	前半は、国家試験第1課題のひとつであるオールウェーブセッティングを中心に学ぶ。後半は、同じく第1課題のひとつであるワインディングと第2課題であるカットtingを、本学ならではのプロセスにより効果的に教授する。					
授業計画						
回	項目	内容				
1～2	国家試験 オールウェーブセッティング	ピンカール技術展示・実施				
3～4		構成の確認				
5～6		30分				
7～8						
9～12		ウェーブ、ピンカール技術の確認				
13～16		レベルチェック 30分				
17～20		サイドからの施術手順展示・実践				
21～24		技術復習				
25～28		25分				
29～32		25分				
33～36						
37～40		国家試験 ワインディング	構成とプロセス説明、巻き方（上巻き・下巻き）展示・実践			
41～44	角度による取め方をセクション別に展示・実践					
45～48						
49～52	全頭 20分					
53～56	全頭 20分					
57～60	全頭 20分					
61～64						
65～68						
69～72	カットting構成と技術					
73～76	セクション別によるプロセス説明					
77～80	ブロッキング実践					
81～84	カット実践、フロント、サイド					
85～88	カット実践、ネープ、バック					
89～92	国家試験 ヘアカットting	仕上げ、全頭復習				
93～96		30分				
97～100		25分				
101～104		20分				
105～108						
109～112		レベルチェック 20分				
到達目標	国家試験合格	評価方法	定期試験			

科目名	美容実習Ⅳ	科目区分	必修	授業形態	実習	
対象学年	通年（修得者）	担当者	菊地・上原・川村（担当教員は美容室で美容師として実務経験あり）	時間数	690時間	23単位
教育目標	国家試験の合格を主眼に置きながら、第1課題を徹底的に反復練習する。技術ごとに定期的なレベルチェック（技術評価）を行い、科学的な分析により評価基準に適合した能力の指導を推進していく。					
授業概要	美容に関する基礎的理論と知識を学び、学習をとおして基本技術を効果的に習得する。国家試験第1課題である、ワインディング・オールウェーブセッティング技術を確実なものにしていく。					
授業計画						
回	項目	内容				
1～2 3～4	国家試験課題	ワインディング 20分・オールウェーブ 25分・カットイング 20分				
5～6 7～8	国家試験課題	ワインディング 20分・オールウェーブ 25分・カットイング 20分				
9～12 13～16	国家試験課題	ワインディング 20分・オールウェーブ 25分・カットイング 20分				
17～20 21～24	国家試験課題	ワインディング 20分・オールウェーブ 25分・カットイング 20分				
25～28 29～32	国家試験課題	ワインディング 20分・オールウェーブ 25分・カットイング 20分				
33～36 37～40	国家試験課題	ワインディング 20分・オールウェーブ 25分・カットイング 20分				
41～44 45～48	国家試験課題	ワインディング 20分・オールウェーブ 25分・カットイング 20分				
49～52 53～56	国家試験課題	ワインディング 20分・オールウェーブ 25分・カットイング 20分				
57～60 61～64	国家試験課題	ワインディング 20分・オールウェーブ 25分・カットイング 20分				
65～68 69～72	国家試験課題	ワインディング 20分・オールウェーブ 25分・カットイング 20分				
73～76 77～80	国家試験課題	ワインディング 20分・オールウェーブ 25分・カットイング 20分				
81～84 85～88	国家試験課題	ワインディング 20分・オールウェーブ 25分・カットイング 20分				
89～92 93～96	国家試験課題	ワインディング 20分・オールウェーブ 25分・カットイング 20分				
97～100 101～104	国家試験課題	ワインディング 20分・オールウェーブ 25分・カットイング 20分				
105～108 109～112	国家試験課題	ワインディング 20分・オールウェーブ 25分・カットイング 20分				
113～118 119～122	国家試験課題	ワインディング 20分・オールウェーブ 25分・カットイング 20分				
123～126 127～130	国家試験課題	ワインディング 18分・オールウェーブ 23分・カットイング 18分				
131～134 135～138	国家試験課題	ワインディング 18分・オールウェーブ 23分・カットイング 18分				
139～142 143～148	国家試験課題	ワインディング 18分・オールウェーブ 23分・カットイング 18分				
149						
到達目標	国家試験合格	評価方法	定期試験			

科目名	選択課目①(エステ)	科目区分	必修	授業形態	実習	
対象学年	2学年通年	担当者	菊地・西村・上原・川村(担当教員はエステサロン、美容室で美容師またはエステティシャンとして実務経験あり)	時間数	210	7単位
教育目標	フェイシャルから、ボディケアまでエステティック全般を学び、理論に裏打ちされたより高度な技術や知識を身につけリーダーシップの取れる人材を育成する事を目標とする					
授業概要	基礎をベースにプロフェッショナルとしてより高度な知識、技術をトータルに修得する					
授業計画						
回	項目	内容				
1~2	エステティック概論	エステティックの本質・歴史と現況				
3~4	フェイシャルエステティック	ハンドクレンジング				
5~6						
7~8	エステティック概論	エステティックに関する法律				
9~10	フェイシャルエステティック	ブラシクレンジング				
11~12	エステティック機器学	法律に関するエステティシヤンの倫理 エステティック機器学				
13~14		とエステティック技術、エステティック機器の原理				
15~16	フェイシャルエステティック	ウッドランプ・スキンチェック				
17~18						
19~20	エステティック機器学	エステティック機器の種類と特徴				
21~22	フェイシャルエステティック	ディープクレンジング				
23~24						
25~26	エステティック機器学	エステティック機器を使用するための電気の基礎知識				
27~28	フェイシャルエステティック	サクション				
29~30						
31~32	エステティック機器学	いろいろなエステティック機器の特徴と使用法				
33~34	フェイシャルエステティック	フェイシャルマッサージ				
35~36						

39～40	フェイシャルエステティック	フェイシャルマッサージ	
41～42			
43～44	エステティック技術	フェイシャルケアの流れ (カウンセリングからアフターカウンセリングまで)	
45～46	フェイシャルエステティック	フェイシャルマッサージ	
47～48			
49～50	エステティック技術	フェイシャルケアの技術	
51～52	フェイシャルエステティック	フェイシャルマッサージ+デコルテ	
53～54			
55～56	エステティック技術	フェイシャルケアの技術	
57～58	フェイシャルエステティック	フェイシャルマッサージ+デコルテ+スチームタオル	
59～60			
61～62	エステティック技術	エステティックフェイシャル機器	
63～64	フェイシャルエステティック	パック	
65～66			
67～68	エステティック技術	エステティックフェイシャル機器	
69～70		クライアントに合わせたプログラム作成①	
71～72			
73～74	フェイシャルエステティック	クライアントに合わせたプログラム作成②	
75～76			
77～78		クライアントに合わせたプログラム作成③	
79～80			
到達目標	エステティシャンとしてフェイシャルの基礎知識、技術、マナーを学び、フェイシャルケアの意味と目的を理解する。	評価方法	期末試験

科目名	選択課目②(まつ毛エクステ)	科目区分	必修	授業形態	実習	
対象学年	2学年通年	担当者	上原 (担当教員は美容室で美容師として実務経験あり)	時間数	210	7単位
教育目標	まつ毛エクステの基礎技術、理論を修得し、施術の目的を理解したうえで実践する能力を身につける。					
授業概要	基礎をベースにプロフェッショナルとしてより高度な知識、技術をトータルに修得する					
授業計画						
回	項目	内容				
1～2	マツエク	まつ毛エクステの病理学				
3～4						
5～6		固定テープの張り方				
7～8						
9～10		まつ毛エクステの装着				
11～12						
13～14		まつ毛エクステの病理学				
15～16						
17～18		まつ毛エクステの装着				
19～20						
21～22		リムーブの仕方				
23～24						
25～26		商材学				
27～28						
29～30		カウンセリングの手順				
31～32						
33～34		まつ毛のクレンジング				
35～36						
37～38		リムービング				
39～40		テスト				
到達目標	ウィッグに時間内に所定の本数が正しく装着できるようにする	評価方法	期末試験			

科目名	選択課目②(総合)	科目区分	必修	授業形態	実習	
対象学年	2学年通年	担当者	菊地・上原・川村 (担当教員は美容室で美容師として実務経験あり)	時間数	210	7単位
教育目標	レディースカットの基本技術を習得し、パーマ、カラー等総合的な技術力を身に着ける。					
授業概要	カットを中心に技術を総合的に修得する					
授業計画						
回	項目	内容				
1~5	総合	レディスカット (ワンリングス、正しいブロッキングのとりかた)				
6~10						
11~15		レディスカット (ワンリングス、正しいブロッキングのとりかた)				
16~20						
21~25		ワンリングスのブロー (ドライヤーとブラシの使用法)				
26~30						
31~35		パーマ技術				
36~40						
41~45		パーマ技術				
46~50						
51~55		パーマ技術 (薬液塗布) アフターカット				
56~60						
61~65		ブリーチ技術				
66~70						
71~75		ブリーチ技術				
76~80						
81~85		マニキュア技術				
86~90						
到達目標		ウィッグに時間内に所定の本数が正しく装着できるようにする	評価方法	期末試験		